

ユマニテク医療福祉大学校 令和6年度 学校関係者評価委員会 議事録

日時 2025年3月13日(木) 15時~16時10分

場所 ユマニテク医療福祉大学校 会議室

出席者

【学校関係者評価委員】

関係団体 三重大学大学院医学系研究科 名誉教授 山本 哲朗 様

関係団体 三重大学 教育推進・学生支援機構 全学共通教育センター 教授 太城 康良 様

関係団体 三重県介護福祉会 副会長 甲斐 義典 様

関係企業・卒業生 三重厚生連三重北医療センター 作業療法室 伊藤 正敏 様

卒業生 歯科衛生学科同窓会長 増本 綾子 様

地域住民 塩浜地区連合自治会 塩浜本町2丁目自治会長 谷崎 知文 様

【学校側】

校長 小出 益徳

理学療法学科長 椿井 裕樹 作業療法学科長 山崎 治行

歯科衛生学科長 北川 順子 介護福祉学科長 酒井 夕香子

事務長 水谷 美加

1 挨拶

令和7年3月6日に令和6年度卒業式をさせていただきました。卒業生たちは、それぞれ1月26日に介護福祉士、2月24日に理学療法士、作業療法士、3月2日に歯科衛生士の国家試験を受験しました。教育活動について昨年に評価をしていただいた点を振り返り、1年間実施させていただきました。忌憚のないご意見をいただき来年度の学校運営に反映させていきたいと考えていますので、何卒よろしくお願いいたします。

2 出席者自己紹介

今年度より三重大学大学院医学系研究科 名誉教授 山本 哲朗 様、理学療法学科椿井学科長、水谷事務長が新規で出席。

3 学校概要説明

校長より資料に基づいて学校概要の説明。

4 学校自己評価結果について

- ・学校自己評価結果の(1)教育理念・目標(2)学校運営について資料に基づき校長より説明。
- ・(3)教育活動(4)学習成果(5)学生支援について各学科長より追加説明。

理学療法学科：

3年制課程の学年が初めて卒業しました。3年間の中での学習なのでかなり厳しいと思っていましたが、3年間だからやらないといけないと思う学生が多く、国家試験は非常に良い結果が得られました。ただし勉強だけになってしまい、人間性を身に付けてから社会に出て欲しかったですが、何とか

国家試験合格レベルに到達したと感じています。国家試験の合格発表は3月21日です。

学習成果として、卒業生の卒業動向を見ていかないといけないので、同窓会しおかせと連携しながら、情報共有をしていきたいと考えています。同窓会からは在校生に対して、臨床現場でのことを話してもらう機会を企画したいと考えています。

教育環境は、Teamsを導入していますが、学内のインターネット環境が安定しないので使いこなせません。

学生支援は、来年度から学科独自の学費減免制度を創設しましたので、単位の取れなかった学生に次年度に退学をせずに再度目指す環境の機会を作ることを考えています。実習支援ソフトを導入し、実習の取り組み具合や提出物がどういう形でやっているのかということ指導者と共有したいと考えています。

学生の受け入れ募集では、「一緒にチャレンジ」を行っており、以前は紙芝居風にスケッチブックで説明していましたが、今年是对話をしながら、その学生がどのようなことを考えているかを聞く時間を重視しており、来年度も継続していこうと考えています。

社会貢献では、教員がヴィアティン三重のサポートをしています。来年度は学生も参加してデータ収集の機会も検討していきたいと考えています。

作業療法学科：

教育活動は、引き続き、風薫会様と協力していきながら役立つ話をさせてもらっています。昨日と本日に、歩いて5分程の所にある塩浜デイサービスセンターへレクリエーションを作業療法士としての視点で行わせてもらっています。

学習成果は国家試験についてです。理学療法学科と同様に3月21日に合格発表があります。学習方法は、オンライン上で使うツールYouTubeなどの動画のツールであるとか絵を多く入れ、印象付けてもらう形での授業を重点的に行ない、国家試験対策でも同様に行っています。インターネット環境が整っていないので、学生たちのオンライン環境に頼りがちになっています。学生支援にもつながりますが、Teamsを活用し、連絡やデータ資料のやりとりで情報共有をしています。

学生支援は、メンタル的に問題がある学生たちが多く、退学につながらないように、なるべくフォローしています。残念ながら、学力的についていけなくて退学しまう学生もいますので、昨年同様、学校に残ってもらい動画ツールを使って、学力向上につなげていく対応をしています。今年度は退学率が上がってしまいましたので、来年度の反省点です。今年度は1年生が18名入学し、現在は9名が進級する予定です。学力不足、進路変更で退学する学生が今回多かったという印象があります。募集関係に関しては今年度で募集停止になっています。

歯科衛生学科：

12歳児のう蝕管理が全国平均0.61本です。虫歯が減ってきました。今、歯科衛生士がやらなければいけないのは歯周病の事です。歯周病に対応できる歯科衛生士を養成しなければいけないので、カリキュラムを徐々に変更していこうと思います。高齢者の方の「8020運動」の達成率が50%を超えました。その歯が健康かという歯周病の状態が残っていますので、歯科衛生士の役割としてアプローチしていかなければいけないと考えています。

授業評価の評価体制を構築しなければならないと考えています。学生授業評価にどれだけ信憑性があるかないという点が課題だと思っています。

学習生活では、昨年まで就職率が100%、国試合格率が100%、退学率が8年連続5%以下でしたが、今年度1年生の退学率が例年になく多くなっています。進路変更もありますが、最後の学年末

テスト前に自己判断して、もう無理だと言って退学に至っている学生や留年する学生も若干見られます。これから先もフォローしていかなければいけないと思っています。新しいカリキュラムにキャリアデザインを設定しましたので、生涯にわたって、キャリアをどうやって積んでいくのかということを経験者のうちに考えさせたいと思っています。

学生支援は、就職に関して三重県歯科医師会や会員外の方とも就職情報は交換していますので、100%の就職が実現できている状況です。学費支援は独自の奨学金制度も取り入れています。金額的に充分ではないので、経済的支援をするのは難しいと思っています。次年度から塩浜寮がなくなることで、遠方の学生が入りやすい環境がなくなりつつあり、危惧しています。

教育環境では、防災において学生1人ずつ防災グッズを入学時に購入して1日分を学校で保管しています。災害・救急訓練を実施しながら、防災に対する意識付けは徐々に深めていますが、真冬真夏に被災したら、具体的にどうしていくのかという対策が練られていないと思います。

学生の受け入れ募集は、教育訓練給付金がありますので、学費の8割が卒業後に返還される制度もありますので、社会人経験者には利用してもらいやすいと思っています。

社会貢献では、地域の小学校で歯科衛生教育を行っています。高齢者に対しては、「はつらつ健康塾」を教員が講師を担当しています。

介護福祉学科：

今年度、新しいカリキュラムの中でICT、運動学などを取り入れています。1年生でICTと美容に関しては授業が終わりましたが、学生からも概ね内容は良かったという印象があります。

留学生の日本語教育は大きな課題になっています。日本語教育を担う非常勤講師に1年生は一般的な日本語教育を行ってもらっていましたが、留学生から授業についていくことが難しいという声が結構ありましたので、介護の専門用語を中心に、2年生の日本語教育は国家試験対策を行っています。1月の国家試験対策までの間、日本人とは別に、留学生だけの国家試験対策のための日本語の授業を導入しています。しかし、介護福祉国家試験の留学生の合格率がどうしても低く10%、高くても30%台になっています。非常勤講師にお願いするだけでなく、試験対策へ力を入れており、ほとんど授業に当てて、2年生の授業で導入しているので、朝もテストして試験の勉強が途切れないように、勉強が継続できるように、模擬試験をしています。留学生は厳しい状況です。合格発表は3月24日です。

学生支援は、メンタルが弱い学生に対してこまめに面談を行い、保護者とも連携を取りながら、学生のサポートを行っています。本校の施設奨学金は金銭的支援が必要な学生に施設の奨学金を進めることで、就職を意識するためにも、今年度の卒業生の職業訓練生で年齢が高い方の割合が多くなり、就職がなかなか決まらないという現状がありました。履歴書の指導を行い、面接の指導で職歴が多くあり、かつ年齢が少し高いと、どうしても面接の内容のハードルは上がっているため、教員が指導して卒業生全員が就職しています。

教育環境は、古くなった備品を適宜、新しい備品に買い替え点検を行うことで対応しています。

学生支援は、留学生の防災訓練は、日本人と一緒に実施して避難の考え方を含めて行っています。

学生の受け入れ募集は、定期的にInstagramをアップしています。施設奨学金の案内も積極的にさせてもらっています。就職先が決まる在学時に、学費支援があるということ詳しく聞いていただく保護者の方に対する取り組みをしています。1月下旬から3月の中旬までは委託訓練生を確保するため、ハローワークでの説明会を行っています。

社会貢献と地域貢献は、「塩浜文化祭2024」に参加しました。介護福祉士の仕事を知らせてもらう、

学校活動を知ってもらうという視点で活動しています。

・(6) 教育環境・(8) 財務について事務長より説明。

塩浜寮は今年度で閉鎖となりますが、家賃のサポートを行います。理学療法学科では留年した学生に対しても学費の軽減を行います。

5 学校関係者評価委員による評価、意見交換

山本) 理学療法学科に対して生理学を教えています。学生が参加できるような授業を心がけています。英語表記を多く入れています。学生からは敬遠されます。自分たちがどれだけ努力をするかが大切。臨床現場で卒業生を見ていますと、成長が良く見えます。今は授業内容が成果として、すぐに実るかは、難しくなっています。留学生はどこ国が多いですか。

酒井) ネパールが多いです。

山本) 学生数の割合はどうですか。

酒井) 留学生が多く、次いで訓練生が多いです。

太城) 授業に対する学生評価は年間何回していますか。

椿井) 年2回実施しています。

太城) 退学者へ退学理由のアンケートを取ると具体的に退学理由がわかるので取ってみてはどうですか。

甲斐) 留学生の国試合格率の低い原因が日本語の理解が難しいとのことなので、三重県介護福祉士会などの関係機関を利用して欲しいです。キャリア支援へも協力するので、利用して欲しいと思います。

伊藤) 実習支援システムは近隣養成施設が利用しています。従来の紙面よりもパーソナルコンピューターを起動し入力しないといけないので、時間が掛かってしまいます。病院内の理学療法士、作業療法士からも色々な意見が出ていますが、私としては学校の教員と指導内容が情報共有できますので、安心して指導ができます。学校のインターネット環境の整備は重要。卒業教育は三重県内に一番卒業生の多い学校なので、繋がり重要と考えます。研修を行なうために、学校は利用しやすいが、利用料の負担が大きいので施設使用料を割り引くなどの検討をお願いしたい。現在、研修会の参加費を統一料金にしていますが、同窓会員と同窓会員以外で料金の差別化を図り、同窓会員が参加しやすくしたいと思っています。卒業生の転職サポートや作業療法学科の学生がいなくなっからの卒業生のサポート体制を構築して欲しいです。

増本) 小児の虫歯が少なくなってきました。学校からの歯磨き指導などができると良いと考えています。

谷崎) 昨年の本委員会では地域との交流の一つとしての文化祭の参加を提案しましたが、今年は協力して頂きましたので、引き続き参加して欲しいです。学生の路上喫煙を相談しましたが、早急に学校内に、喫煙所の設置、携帯灰皿を配布などの対策をしていただいたので、感謝しています。地域住民は、学生は地域外の人間という意識をしており、ネガティブな印象を持っていますので、学校が地域に貢献していることをアピールしていきたい。

6 その他・連絡

特になし

